

カトリック仙台司教区・カリタスジャパン 東日本大震災救援・復興活動ニュースレター

発行人：平賀徹夫 編集：小松史朗
〒980-0014 仙台市青葉区本町 1-2-12
カトリック仙台司教区事務局
Tel.022-222-7371 Fax022-222-7378
1) 義援金振替口座：02260-9-2305
名義：カトリック仙台司教区本部事務局
2) 支援金振替口座：00170-5-95979
名義：カリタスジャパン

前回に引き続き、各ベースと小教区の傾聴活動を紹介します。それぞれに特色があり、日本全国の小教区がこれを機会に町の中で傾聴活動の拠点になれば教会は変わるのになどと思いを巡らしています。今回は CTVC と石巻ベースそして、八木山教会と一本杉教会の傾聴活動です。 乞うご期待！

お茶の心は！もてなしの心！

福島市郊外の宮代仮設住宅では、毎週「ふれあい茶の湯」が開かれています。

松木町教会の有志が、原発事故で浪江町から避難している入居者たちに抹茶を振る舞い支援活動を続けています。ボランティア代表の茶道家、鈴木キミ子さんは、かわいいお菓子と抹茶と一緒にいただきながら、被災者のお話を聴き、寄り添って共に歩む心を大切に活動しています。2月24日(金)は、茶の湯と鍋物の楽しい昼食会。一緒に鍋をつつきながら会話がはずみました。カリタス・ジャパンから寄贈されたカラオケで集会場が盛り上がり、民謡の得意なおばあさんの新相馬節を聴きながら、目をうるませている方もいました。3月3日はいつもの茶の湯に、かわいいひなあられが添えられ、ギターの伴奏で子どもたちが歌を披露。おいしいちらし寿司をいただいたあとは、きれいに飾られたひな壇の前で、子どもたちを囲んで記念撮影。子どもがいると会場が明るくなり高齢者に笑顔がこぼれました。



子どもからお年寄りまで、皆で楽しく！

カラオケ、将棋、読書におしゃべり！

石巻ベースでは、石巻市と東松島市の仮設住宅でのお茶サロン「カリタスサロン」を実施している。現在石巻市では、4か所の仮設で定期的に、また、3か所の仮設で単発的にサロンを開催し、東松島市では2か所の仮設で定期開催している。サロンでは、フリードリンク制での飲み物とお茶菓子の提供とともに、継続的開催による信頼関係の構築と居場所づくりを目指してきた。その成果として、現在は簡単なビーズ作りやカラオケ、将棋、読書、おしゃべり等、参加者が自分でサロンの過ごし方を選択し、それぞれが同じ空間の中で自分のお気に入りの時間を過ごしている。その他、社会福祉協議会の見守り隊と協力をとることにより、遠方または小規模の仮設への支援要請依頼も受けており、3か所で単発的に簡単な手芸とお茶を共同開催という形で提供している。今後、仮設から出ていく人が増える一方で、残されていく人に寄り添えるサロンを目指して活動を続けていく。



たくさんの方々と！語らいの時！

八木山教会から亘理教会への支援！

「八木山のような小さな教会で何ができるだろう？」

毎日が試行錯誤の連続です。

八木山教会は仙台市の西南に位置し、国道4号線より内陸にあるため、沿岸の6号線の教会で宮城県南部にある亘理教会の活動に協力させていただいています。

具体的には、亘理地区のマルト食品(豆腐)を応援することにしました。この豆腐を買えば、亘理山元地区の田んぼは緑化が進み、地域農業の再建に役立つので、全国の16カ所の教会に紹介して直接注文をお願いしています。



この副似合うかしら！どう？

2012年11月「亘理ふれあいマーケット」に八木山教会として参加し、教区を超えたカトリックのパワーを実感しました。地域につながる東北の教会が、東京、大阪、長崎の教会と連携すれば、被災者にとって効果的な働きができると確信します。また、教会単位で傾聴活動を実施し、「傾聴の難しさ」を体験しました。

2012年2月より、亘理地区の仮設旧館で「洋服作り」と傾聴活動を始め、毎月第2第4水曜日に、7~8名の信徒が活動しています。今後は県南の4教会との交流を広げ、震災対応から新しい創造につなげてゆきます。

(八木山教会 野田和雄)

教会はキリストの愛を運ぶ道具！

カトリック一本杉教会では、昨年6月ごろから、仙台市若林区荒浜地区で被災した方々が200世帯程住む「荒井東通仮設住宅」への支援活動をしている。

毎週水曜日の、1時から3時までのひと時を集会所で様々なイベントを企画し、仮設の方々と交流を図り、8月の仙台七夕に合わせて、仮設の方々と共に2本の七夕飾りを仮設のメインストリートに掲げ、12月には、仮設に、クリスマスツリーを飾り、クリスマス会を企画し、マリンバの演奏や、クリスマスソングで楽しい時を過ごしていただいた。

現在は、仙台中央地区の豊屋丁教会、西仙台教会と合同での「カリタス・カフェ」。仮設の方々と共にコーヒーやお茶を飲みながらのおしゃべりタイムを楽しんでいただいている。月に1度は、手作業や、音楽、ミニ体操、落語会、など様々な企画も行っている。参加者の方々からは、様々なグループでの企画がある中で「カリタスさんが一番」との声も。



月に1度、三教会のボランティアメンバーが集まり、反省や、計画を立て、イエスキリストの愛は運ぶのも運ばれるのもみな笑顔一人一人がキリストの愛を運ぶ道具となり、息の長い支援を続けていこうと話合っている。

(カトリック一本杉教会 岩井 誠)